

ゆきあかりの会 お知らせ No.87

2019年1月14日



★次回のゆきあかりの会の日程



【日程と会場】

第79回 2019年3月21日(木・春分の日) 昭和生涯学習センター3階 第3集会室

〒466-0023 名古屋市昭和区石仏町 1-48 (地下鉄鶴舞線及び桜通線「御器所(ごきそ)」駅下車)

☆ 会場への交通案内は次ページの地図をご覧くださいね!!

【時間】 13時30分に開始し、遅くとも16時前までには終了致します(受付;13時15分~)。

【ご参加のお申し込み方法】

- ① 参加のお申し込みは、2日前の金曜日までに、事務局:近藤宛てにお申し込みください。
2回目以降の方も、出席者数を把握する為にご連絡をくださいね♥
- ② 参加費はお一人500円です。当日、会場の受付でお支払いください。

【交通機関のご案内】

- ◆ 地下鉄鶴舞線及び桜通線「御器所」駅下車
②番出口から南へ300M
③番出口から南東へ300M

- ◆ 個人住宅やマンション等が並ぶ街の中にある、3階建てのレンガ色(茶色)の建物です。



あなたが“今、できていること”を大切に…

皆様の中には、深い悲しみや寂しさ、自責の思いなどから、何もする気になれなかったり、生きることすら無意味に思えたり、「前はこんな自分じゃ無かったのに、今は何もしたくない、何もできない！こんな自分は情けない！」と悲しい思いを込めていらっしゃる方もおいでになるかもしれません。

無慈悲な不条理さに押し潰されそうになるのは、愛する大切な人を亡くされた方であれば自然な状態だと思いますし、そうなっても当然ですよ。

人はあまりにも苦しいと、自分ができていないこと、自分ができなかったことだけに心が向いたり、その思いが頭の中を充満してしまいがちになります。



でも、それでも、『今、できていること』も確実にある筈です。絶対にあります！

自分が許せないこと、できていないことだけを考えてしまうのではなくて、意識的に、ほんの少しでも良いから、『今、できていること』や愛する人の為に『行ってきたこと』にも心を巡らせてみませんか？

あなたが『今、できていること』に心を留めて、そして、その『今、できていること』、『今、できていることがある私』を大切に大切にしてください…と思います。



2019年度 あいちホスピス研究会公開講座のご案内

『あいちホスピス研究会公開講座』が今年も始まりますので、皆様にご案内申し上げます。

回	月日(曜日)	テマ	講師
第1回	3月30日(土) 13時30分～16時	『死は遠くの星』	徳永進氏 ◆野の花診療所医師
第2回	4月27日(土) 13時30分～ 16時30分	ホスピス医を迎えて話す会 東海中央病院 渡辺正医師 協立総合病院 飯田邦夫医師 聖霊病院 伊藤靖彦医師 愛知国際病院 大村浩之医師 南生協病院 長江浩幸医師 愛知がんセンター愛知病院 橋本淳医師	
第3回	5月25日(土) 13時30分～16時	2人そろえばコミュニティー 「学んで、繋がり、自分たちで創る人生を生き 抜く処方箋」	内藤いずみ氏 ◆ふじ内科クリニック医師

《会場》 ウィルあいち(愛知県女性総合センター)3階 大会議室
名古屋市東区上堅杉町1 (地下鉄『市役所』2番出口 東へ徒歩約10分)

《参加費》 研究会会員:4000円(全3回一括) 一般:6000円(全3回一括)

《申込方法》 会員以外の方は、1月5日より受付開始です。(定員になり次第、締め切ります)

葉書に住所、氏名、電話番号、「あいちホスピス研究会公開講座」とご記入の上、あいちホスピス研究会事務局へお申し込みください。参加費振り込みのご案内が送られてきます。

《問合せ先》「あいちホスピス研究会」事務局 〒470-0105 日進市五色園1-509



年末から持病の腰痛が悪化し、私は三が日はほぼ寝正月状態で、3匹の猫以外とは誰とも話さない、誰にも会わない生活が続きました。普段は『人と会う』仕事である為か、それほど苦痛では無かったのですが、一方で、「このまま起き上がれなくなったら?」とか「救急車を呼んでも、誰が玄関を開けるの?猫達はどうする?」とか、そんなことばかり、悪い方、悪い方へと考えていました。改めて『一人で暮らす』という現実を目の当たりにし、“見守り”や死後事務委任を今年こそは現実的に考えようと決意した年末年始でした。 近藤浩子

<ゆきあかりの会 事務局>

代表 近藤浩子(臨床心理士)

FAX 020-4669-4206

<ゆきあかりの会>ホームページ

Phone 090-3909-4515

e-mail yukiakainokai@yahoo.co.jp

http://will.obi.ne.jp/yukiakari/

